

外来化学療法センターのご紹介



外来
がん化学療法看護認定看護師
東 直美



外来化学療法センターとは…

化学療法は、手術療法や放射線療法と同様に重要ながん治療です。患者さんが、これからの人生や生活を充実して過ごすための重要な治療として位置づけられています。化学療法は、副作用を抑える薬の進歩により外来通院で行われることが多くなってきました。外来化学療法室は、自宅での生活を続けながら安心して点滴治療が行えるように設けられた治療室です。

外来化学療法センターの様子



当院の外来化学療法センターは、がん化学療法看護認定看護師と専従の看護師を含む外来看護師6名が勤務しています。患者さんが安楽に治療を受けられるよう、リクライニングチェアと電動ベッドを選んでもらっています。

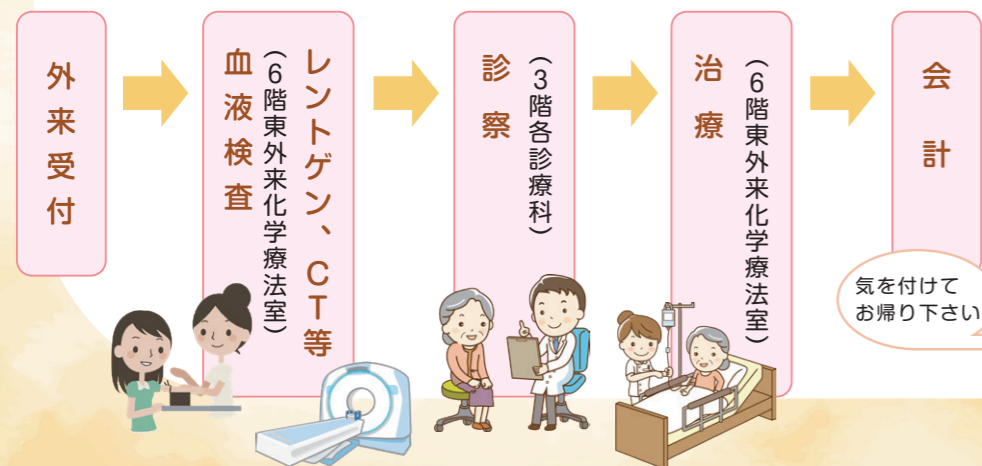
治療中は、リクライニングチェア、ベッドにテレビが備えつけてあるので、テレビを鑑賞しながら点滴治療を受けることができます。



外来化学療法の流れ

初めて化学療法を行う際は、基本入院で行い、2回目より外来で行います。外来化学療法に移行する前には患者さんの不安を少しでも軽減するために、病棟と連携し、外来化学療法室の看護師がオリエンテーションを行っております。化学療法は、体重で投与量が変動しますので、治療日には体重測定を行っていただき投与量の確認を行っております。

外来化学療法当日の流れ



待合室

待合室には、実際に手に取って見ていただけるよう、ケア帽子やウィッグ、爪に優しいマニキュアなどを展示しています。



医師



久山診療部長

日本臨床腫瘍学会
がん薬物療法 専門医・指導医・
評議員
日本がん治療認定医機構
がん治療認定医
呼吸器・総合内科専門医

抗がん剤は細胞傷害性抗がん剤、分子標的治療薬、免疫チェックポイント阻害薬等があります。治療もひとつの薬の投与以外に、それぞれの薬を組み合わせるなど、複雑化してきております。また様々な新薬も開発されており、治療効果も日々進歩しております。その中で長期の入院などで日常生活を損ねることなく、うまく病気と付き合うために、外来化学療法は重要な位置をしめております。

当院では専門のスタッフを配置して、安心、安全な化学療法を受けられるように努めております。



がん化学療法看護認定看護師



がん化学療法看護認定看護師は、患者さんとその家族が、どのような治療を行うか悩んだり考えたりされる段階から、専門的な知識や技術をもとに看護を行う認定看護師です。抗がん剤による悪心・嘔吐や食欲不振、脱毛や皮疹などの副作用に対し、個々の薬剤の特徴を踏まえ対処方法を支援します。

抗がん剤治療に関することで、分からないことや辛いことなどがあれば、ご相談ください。少しでも辛さを和らげて、患者さんが自分らしい時間を大切に過ごしていただけるよう活動しています。

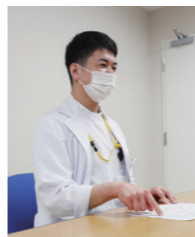


薬剤師

～私たち薬剤師は抗がん剤の調製、患者さんへの説明、抗がん剤オーダーの確認などを行っています。～

■ 抗がん剤の調製

抗がん剤の種類は増え続けており、その特性も様々です。光に当たったり、泡立ったりすると効果が減弱する抗がん剤もあります。そのような特性にあわせた調製を行っています。



■ 患者さんへの説明

患者さんに抗がん剤の作用、投与スケジュール、副作用、注意点を説明しています。



■ 抗がん剤オーダーの確認

医師がオーダーされた抗がん剤の量や副作用対策等が適正か確認・対応を行っています。患者さんが安全で適正な抗がん剤治療が受けられるよう活動して参ります。

診療実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2018年度	303	346	325	339	323	317	345	366	341	346	337	343	4031
2019年度	376	358	347	366	359	340	402	343	345	365	319	324	4244
2020年度	360	317	333	390	369	382	402	339	369	373	349	423	4406
2021年度	441	389	460	435	428								